



かごしま版

「ふるさとワーキングホリデー推進事業」

企画部 地域政策課

かごしま版「ふるさとワーキングホリデー推進事業」

地方への「ヒト・情報」の流れを新たに創出するため、都市部の若者等が、一定期間地域に滞在し、働いて収入を得ながら、地域住民との交流等を通じて、地域での暮らしを体感し、地域との関わりを深める機会の提供に取り組む。

都市部の若者のニーズ

- 田舎で働きたい（地域での暮らしを体感したい）。
- 地方で自らの経験を活かしたい。

地域のニーズ

- 地域づくりの担い手、人材を確保したい。
- 交流人口を増やし、地域を活性化したい。また、将来的な移住を促進したい。

互いのニーズをつなげて具体化

かごしま版「ふるさとワーキングホリデー推進事業」では

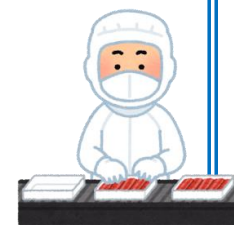
- 宿泊費補助
1人1泊3千円上限
- 通勤用交通費補助
1人5千円上限（受入期間中）
- 交流プログラム経費補助
- 作業服購入経費補助
1人5千円上限
- イベント保険補助

《仕事の例》

農・林・水産業関連での補助
(収穫や清掃作業など)



加工品・惣菜等の製造補助
(パック・袋詰め, 洗い場など)



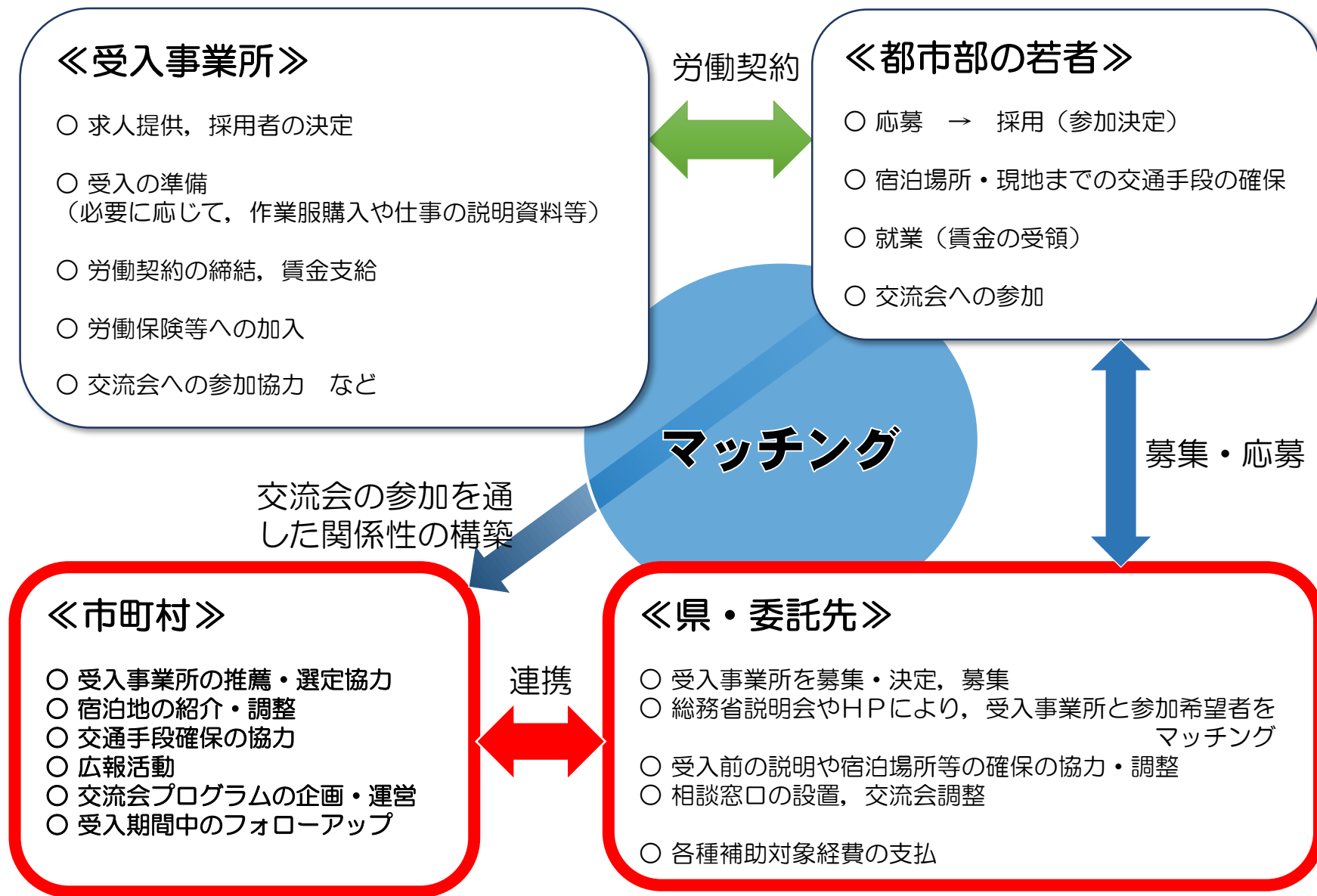
ホテル・旅館のスタッフ
(レストランホール, 客室係など)



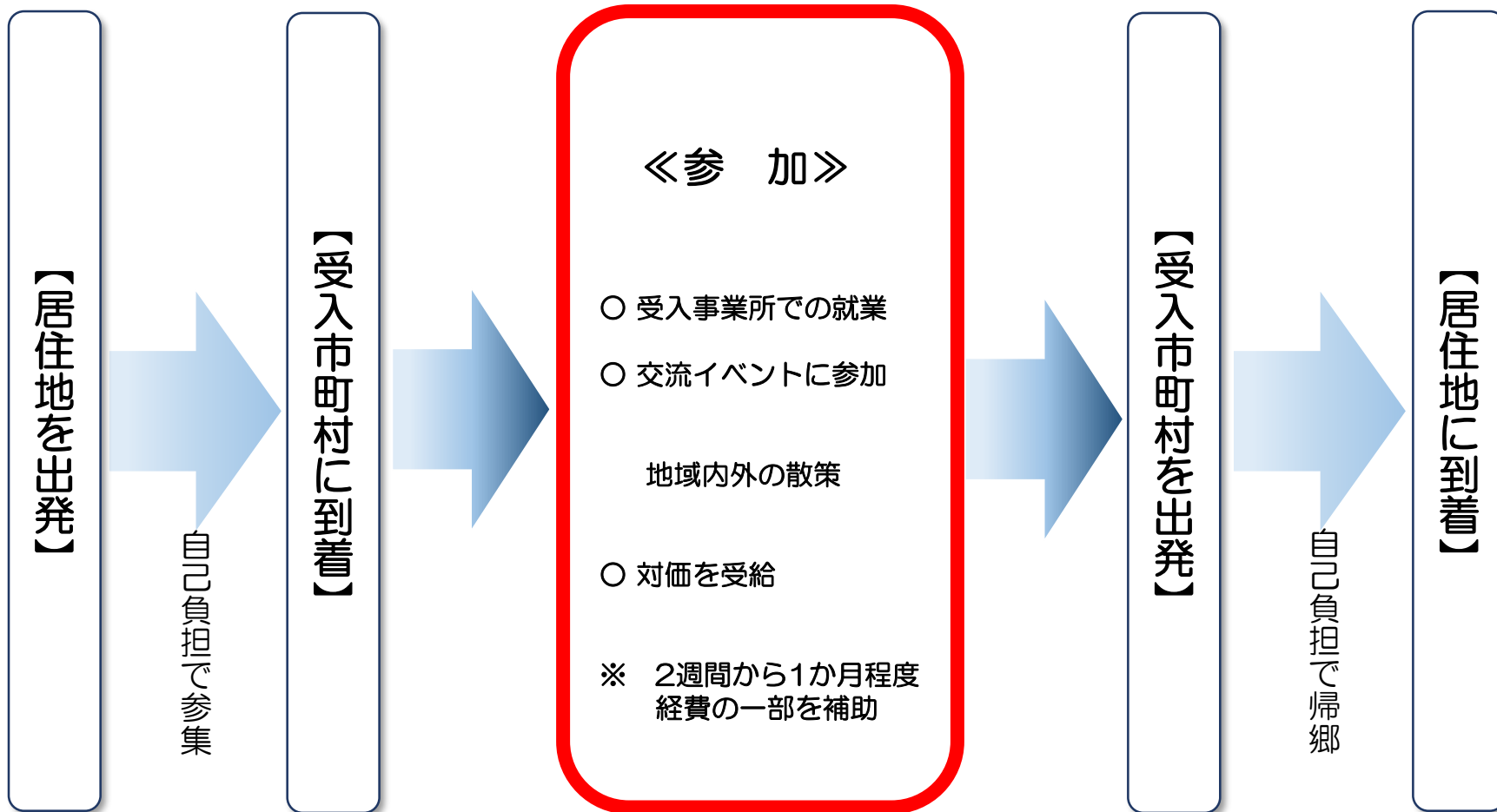
物産館等スタッフ etc.



【かごしま版「ふるさとワーキングホリデー推進事業」実施体制イメージ】



【参加者受入の流れ】



【実施スケジュール（年度前半見込み）】

